

<第4議案>

2011年度収支予算

15ページの2011年度収支予算書をもって、2011年度収支予算とする。

<説明>

2011年度収支予算のポイントは以下の通りである。

※ 以下、増減は、2010年度決算額との比較

2011年度は、常勤スタッフ2人体制の継続を前提に、調査委託の新規開拓などに努めるが、当年度収支差額13万円の赤字を見込む。2010年度からの繰越金約112万円は、2011年度末には約99万円になる。

年会費増をはじめ、ここにあげられた会費収入、事業収入、寄付金収入はすべて意欲的な見積みであり、収入増、経費削減における相当の努力が必要である。

1. 会費収入について

会費収入全体は約34万円の収入増を見込んでいる。これは、2010年決算において、例年よりも年会費の回収率が高かったことを勘案し（09年決算比で約74万円増）、会費督促ならびに新規会員・購読者獲得努力によって増額を見込むものである。会員・購読者数の正味増は賛助会員相当で40口と見積みっており、予想される退会者、購読中止者の数を勘案すると、目標達成のためには、新規会員・購読者80名程度を獲得しなければならない。会員一人一人に新規会員・購読者の獲得にご協力いただくことを前提としつつ、メリハリのある努力を継続する。

2. 事業収支について

事業収入は約46万円の増、支出は約10万円の減を見込む。

- ・イアブックでは、「2011年版」作成により収支黒字47万円（収入187万円、支出140万円）を見込む。
- ・ブックレット作成により収支黒字6万円（収入36万円、支出30万円）を見込む。
- ・調査受託費として150万円を見込む。
- ・前年からの奨励研究員を6月まで継続し、約30万円の支出を見込む。

3. 助成金収入について

新規に50万円の助成金収入を見込む。

4. 管理費について

- ・管理費は、印刷製本、旅費などの削減により、全体として約46万円の減を見込む。
- ・給料手当は、1～3月にかけて産休及び育休の関係で約10万円の減を見込む。

・なお、宜野湾市からの調査委託事業は2010年度（2010年7月から2011年3月）も継続しているが、会計年度のずれから生じる複雑さを避けるために別会計扱いとしており、予算案に含めていない。同じく別会計扱いとして「将来計画資金会計」から30万円の支出を見込む。